

Bonjour à tous.

受講生のみなさま、こんにちは！通信事務局です。

今年もボジョレー・ヌーヴォー(Beaujolais Nouveau)の季節がやってきましたね！今年の解禁日は11月18日(木)です。

日本では日付変更線の関係上、本場フランスよりも8時間早く楽しむことができます。この機会に、ワインに合う秋の味覚と共に楽しんでみてはいかがでしょうか？感染対策をしっかりと行いつつ、秋の収穫をお祝いしましょう！



■ よくあるお問い合わせについて

Q1：答案が返却されるより前に、模範解答を早く見れる方法がありますか？

各答案締切日より、学習用プラットフォーム(Moodle)上で模範解答のPDFをご覧いただけます。課題の提出ができずに後で自己採点をしたいという方も、こちらで模範解答が確認できます。ぜひご利用ください。

Q2：会話サポートは、何回か分をまとめて予約できますか？

会話サポートは、1回ずつのご予約となります。レッスンが終了後、改めてご予約をお願いします。会話サポートについての詳しい説明は下記をご覧ください。

■ 会話サポートについて

通信コースのサービスの1つである「会話サポート」では、日常会話や発音矯正、試験の口頭面接練習など、幅広くご利用いただけます。先生と1対1の会話レッスンとなりますので、ぜひご利用ください！ご予約は学習用プラットフォームより可能です。<https://tinyurl.com/soutien-A21>

※予約されたレッスンを欠席される場合は、24時間前までに通信ネットより「予約をキャンセル」をお願いします。当日のキャンセルの場合は、教師にSkypeで「欠席します」とメッセージを入れてください。多くの受講生の方が会話サポートをお使いいただけるように、皆さまのご協力をお願いします！



■ 11月6日(土)通信事務局お休みのお知らせ

11月6日(土)はDELF-DALFの試験のため、通信事務局は閉室となります。この間のお問い合わせは、11月9日(火)以降に順次ご対応させていただきます。

■ 添削答案の発送日について

郵便局サービスの変更により、2021年10月から郵便物の土曜日配達が無効となりました。

いつも各週の金曜日が添削答案発送予定日となっていました。受講生の皆様に答案をお待たせすぎないように、今学期は予定日より早めに発送処理をさせていただきます。そのため、発送予定日前に答案がご自宅へ届く場合もあります。答案発送予定日より1週間過ぎても答案がご自宅に届かなかった場合は、事務局までご連絡をお願いします。

～課題提出の際のお願い～

最近、課題提出時の切手不足が多く発生しております。切手不足の場合、当館では受け取れずご自宅へ課題が戻ってきてしまう可能性もあります。1つの封筒に2課題分ご郵送される際など、切手が不足していないか今一度お確かめの上、ご郵送いただきますようお願いいたします。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

L'expression *faire bonne chère* signifie « faire un bon repas », « prendre plaisir à manger et boire de bonnes choses ». Mais d'où vient cette expression ? Parmi ces 4 explications, devinez quelle est la bonne :

1. de l'adjectif **cher**, (« coûteux »), parce que la bonne cuisine **coûte cher**.
2. du nom **chair** (« viande »), parce qu'un bon repas comporte de la **viande**.
3. du nom **chaire**, dérivé de *chaise*, par métonymie (une chaise représente un convive mangeant à la **table** commune)
4. du latin **cara**, « tête, visage », *bonne chère* signifiant « visage souriant, réjoui »

Réponses

cher

Du latin *carus*, signifiant comme en français aussi bien « aimé » que « précieux » ou « coûteux ». *Cher* est apparenté à *charité* et *caritatif*, mais n'a pas de rapport avec l'expression *faire bonne chère*.

chair

Du latin *carnis*, comme dans *carnivore* (« qui mange de la viande ») : la *chair* c'est le muscle, le corps, mais aussi la viande. On retrouve le mot dans *charcuterie*, étymologiquement *chair-cuiterie*, autrement dit « chair cuite ». Un bon repas français contient presque toujours de la viande, pourtant ce n'est pas l'origine de *la bonne chère*.

chaire

Chaire est la forme ancienne de *chaise*, et vient du latin *cathedra* (« fauteuil ») mot d'origine grecque ayant donné le mot *cathédrale* (l'église où siège l'évêque). Si l'anglais a gardé cette forme ancienne (*chair*), en français moderne *chaire* ne s'emploie plus que pour désigner une place de professeur d'université. Rien à voir donc avec *la bonne chère*.

chère

Il s'agit en réalité d'un mot différent de tous les homophones précédents, et qui ne s'utilise plus que dans cette seule expression. Le mot vient du latin *cara*, signifiant « tête » ou « visage ». En ancien français, *faire bonne chère à quelqu'un* signifiait « être souriant », et donc « faire un bon accueil à quelqu'un ». Puis le sens de « bon accueil » s'est étendu naturellement à celui d'offrir un bon repas.

Le sens ancien de ce mot s'est perdu en français actuel, aussi on écrit souvent *faire bonne chair*, erroné mais apparemment plus logique. L'orthographe française est difficile pour tout le monde !

faire bonne chère は、「おいしい食事を取る」「ごちそうを楽しむ」ことを表します。ですが、この言い回しにはどのような由来があるのでしょうか？4 つの中から、どれが正しいか考えてみましょう。

- 1.形容詞の **cher**、「高価な」に由来する: 良い料理は値段が高いため。
- 2.名詞の **chair**、「肉」に由来する: 良い食事は肉を含むため。
- 3.名詞の **chaire** に由来する: *chaise* から派生した、換喩(イスは、テーブルで食事をする招待客を表しています。)
- 4.ラテン語の **cara**、「頭、顔」に由来する: *bonne chère* は「笑顔」を意味します。

解答

cher

語源であるラテン語の *carus* は、「貴重な」や「高価な」のほかに、フランス語のように「愛する」という意味も持ちます。*Cher* は「チャリティー」や「慈善を目的とした」と類似しますが、*faire bonne chère* の言い回しとは関係ありません。

chair

語源であるラテン語の *carnis* は、「肉食類」(肉を食べる者)という意味をもちます。筋肉や体、肉を表します。*charcuterie*「豚肉製品」という単語の中にも使われています。(語源的には *chair-cuiterie*「焼いた肉」となります。)おいしいフランス料理にはほぼ毎回お肉が使われますが、*la bonne chère* の語源ではありません。

chaire

chaire は「イス」の昔の言い方で、ラテン語の *cathedra*「ソファー」が由来しています。このラテン語はギリシャ語から由来していて、フランス語の *cathédrale*「教会、司教席」の語源にもなっています。

英語ではこの昔の形を使ったままですが、フランス語では現在 *chaire* は教壇という意味でしか使われていません。したがって *la bonne chère* とは何も関係がありません。

chère

こちらは今までの単語とは違って、この言い回しでしか使われません。*chère* はラテン語の *cara* が由来していて、「頭」や「顔」の意味を持ちます。昔のフランス語では、*faire bonne chère à quelqu'un* は「笑顔でいること」を表わすため、「～を歓迎する」ということになります。そして「歓迎する」ことは、おいしい食事を振舞うことに自然と繋がるのです。

この単語の昔の意味合いは失いつつあり、今ではよく *faire bonne chair* と使ってしまいます。一見正しそうですが、これは間違いです。フランス語の使い方は、誰にとっても難しいものですね！